

卓越した技術者（現代の名工）（2025 年度）

第1部門（金属材料製造の職業）

小野 淳 JFE スチール(株) 東日本製鉄所（千葉地区）

製鋼工場の連続鋳造業務に従事し、製品表明の傷やデータの変化、音や匂いを敏感に察知し、「見えない不具合を見抜く」卓越した技能を有する。センサーがトラブルを察知する前に問題を特定し、安定操業に貢献している。

また、感覚から察知した情報を言語化・数値化することに優れ、設備の調整の際に小野氏の感覚が基準として用いられ、高品質・高効率の生産の実現に寄与してきた。さらに、模擬訓練を導入し、難易度や危険の高い作業でも安全に技能習熟が可能な仕組みを構築し、後進の育成に尽力している。

第3部門（金属溶接・溶断・めっき工、その他の金属加工等の職業）

本田 博文 日本製鉄(株) 九州製鉄所 大分地区

昭和55年から製鉄所全般の鉄工補修業務に従事している。高炭素量の難溶接材や温度管理が困難な大型構造物に対して最適な溶接条件を設定でき、高品質な溶接を実現する卓越した技能を有している。45年間にわたって製鉄所の大型運搬機械や圧延機設備の難補修に数多く取り組み、例えば慢性的な亀裂発生箇所の完全な亀裂発生防止を実現した。

自身の溶接知識・技能を製鉄所内の次世代に伝承すべく、協力会社も含めた所内関係者に対し、オフラインの技能講習や突発対応時の技術指導を行っている。

第4部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

藤田 定良 日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所

冷延・表面処理鋼板・電磁鋼板を製造する機械設備保全業務に33年間従事し、卓越した技能を有している。酸洗槽漏れの未然防止策を考案し、設備の安定稼働に大きく貢献した。さらに、振動・応力測定に基づく診断技術を確立し、科学的根拠に基づく高度な保全を実現した。これらの技能と知識を遺憾なく発揮して軌条移動の診断方法を考案し、設備の長寿命化と修繕費削減にも大きく寄与した。

また、これまでに培った保全技能を新人や若手に伝承し、後継者の育成にも精力的に取り組んでいる。

藤満 康晴 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

製鉄所内の機械設備の建設・保全・整備業務に長年従事し、製鋼から圧延工程まで広範囲で安定稼働体制を構築する等、製鉄所の発展に寄与してきた。設備の構造・作動原理を見極めた保全計画の策定や、五感や運転データから異常を察知し故障低減・寿命延長を実現させるほか、独自改善を数多く実現し、常に卓越した技能を生かし続けてきた。

また、後進の育成にも情熱を注ぎ、教育計画の立案、故障報告会や改善活動を通じて技能伝承を行い、その結果、多くの部下の技能資格の取得にも貢献している。

第5部門 電気機械器具組立・修理及び電気作業者の職業

池田 和雄 愛知製鋼(株)

特殊鋼製造における鋼片ライン・圧延ライン・精整ラインの電気機器・機械の修理、保全技能に卓越している。その高度な技能を生かして、多くの改善活動を推進しており、電気機器の長時間故障の低減や、生産能力の向上等の実現し、安定した生産ができる設備の維持・実現に大きく貢献している。

また、自社学園の生徒への技術指導や、社内における特別教育の講師を務める等、次世代の人材育成にも尽力している。